

研 修 人 権

令和元年7月5日(金) 13:30~16:00

講演・演習 「人権が守られる環境づくり」

講 師 佛教大学 原 清治 氏

1 講演要旨

- ① 近ごろ都に流行るもの…小学生に流行しているネットゲーム
“荒野行動”という100人がネット上で殺しあうゲームが流行ることによって、命を軽んじている子どもや、暴力・「ボケ」「死ね」などの暴言を簡単に言う子どもが増えている
- ② 近ごろ都に流行るもの…「T i k T o k」での動画作成・投稿
 - ・いいねが欲しい→承認欲求
 - ・親が投稿することにより、幼児が危険に晒される→不特定多数の人が見ている
 - ・グループでは序列(カースト)ができる→わざと一人を仲間外れにして楽しむ
- ③ 最近の学食で見られる「ぼっち席」
4人掛けの席やカウンターの席についたてがあり、前の人や隣の人を見ずに食事する
 - ・前に知らない人が来るとチラチラ目が合うため、うっとうしい
- ④ なぜ若者は「ぼっち化」するのか?
 - ・ネット社会のなかで人間関係のあり方が変化→相手を尊重しようとしていない
 - ・「重い」人間関係を嫌う→人間関係が薄い
 - ・LINEに登録されている子が「友だち」→その他の人とは当たり障りのない関係
- ⑤ 乳幼児期におけるスマホ利用率
スマホが0歳から使われている→ネット時代の子どもたち
- ⑥ 子どもたちに求められている資質能力 学力の三要素
 - ・基礎的・基本的な知識・技能→役に立つかわからないが、覚える必要があるもの
 - ・知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力→
答えを導く力
- ⑦ 幼稚園教育要領・保育所保育指針認定こども園教育要領の改訂
 - ① 健康な心と身体、②自立心、③協同性 ④道徳心、⑤社会生活との関わり、
⑥ 思考力の芽生え、⑦自然との関わり、⑧数量・図形、文学等への関心・感覚
⑨言葉による伝え合い、⑩豊かな感性と表現
- ⑧ 幼児教育で注目される能力 非認知的能力
意欲・忍耐力・自制心・創造性・回復力と対処能力→非認知能力は小さいうちから鍛えることが可能
- ⑨ 認知能力と非認知的能力
認知的能力→テストで○×がつけられる力
非認知的能力→テストなどで測定できない力
- ⑩ なぜ非認知的能力の育成が求められているのか
 1. 費用対効果がもっとも得られるのは幼児教育
 2. 幼児期に得た非認知的能力は、大人になってからの所得や幸せにつながる
- ⑪ 非認知的能力の効果 自由保育と一斉保育
読み書き能力は保育形態によって差が出ないが、語彙力は自由保育が一斉保育を有意に上回

る→自由保育は一斉保育よりも非認知的能力を育てる（自由に考えさせているほうが習得するものが多い）

⑫ ネット社会において、「イイネ！」を欲しがる幼児・児童の増加

他者から注目を浴びたい→自尊感情の低下が指摘される

⑬ まとめ相互利益のための調整と協力を容易にするネットワーク、規範、社会的信頼（社会関係資本）→知っている人とだけ仲よくし、知らない人との人間関係を当たり障りなくすることが増えた時に経済も衰退する。

・大きな輪（集団）の中で保育をすること、その達成感などを体験させることが大切

2 感想

まず、今回の研修内容が“人権”だったので、固くて難しい内容なのだと思いますが、この研修に参加しました。しかし、原先生のお話を聞いていると、とても面白くもっと聞きたいと思いました。今の時代はネット社会になっており、もちろん私もアプリやSNSをよく活用しています。思い返してみると、全く知らない人の投稿をよく見て入っており、その中には幼い子どもも映っています。ネット環境が普及し便利になった反面、不特定多数に簡単に見られたり、投稿の内容から家や通っている園も特定され犯罪につながってしまいます。私たち大人は少しでも子どもたちを危険から引き離すためにネットと子どもたちを引き離すことが大事ですが、それは各家庭でも気を付けていくことが大事だと思います。そのために保護者の方が集まる機会に呼びかけたり、事例を挙げて伝えていくことも必要ではないかと感じました。また、この研修でよく出ていた大事なキーワードの“非認知的能力”を幼児期から育てられるように保育の見直しをし、今回の研修の内容を保育士間で共有して園全体がより良いものになるようにしていきたいと思いました。更に、子どもたちの自尊感情が低下しないように子どもたちを沢山ほめたり、笑顔で子どもたちと接し、子どもたちが自ら様々なことに挑戦して行けるような環境を作っていきたいと思いました。

（記録 アスク向日保育園 森下 明日香）